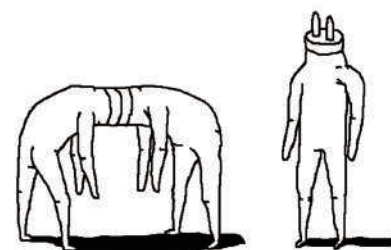




第37回
講座

パ
ル
ン
学
派
？
エ
ス
ト
ニ
ア
に
学
ぶ
作
家
た
ち

Introduction to Contemporary Animation



コンテンポラリー アニメーション入門

～現代短編アニメーションの見取り図～2022



2022.11.12(±)

午後4時30分～午後6時
受付・開場：午後4時～
会場：東京藝術大学大学院映像研究科
馬車道校舎 大視聴覚室



主催：東京藝術大学大学院映像研究科
横浜市文化観光局

コンテンポラリー アニメーション入門

～現代短編アニメーションの見取り図～ 2022

我々の同時代にどのようなアニメーション作家が、どのような意識で作品を制作しているのでしょうか。短編アニメーションは常にアニメーション映像の可能性の最先端を走っています。しかし、実際に製作者や観客の興味の増幅ほど、短編アニメーションを見て知る機会は増えてはいません。まずその基礎知識を共有して、コンテンポラリーアニメーションの見取り図を描くことがこの公開講座の目標です。東京藝術大学大学院映像研究科では、世界的に「いま」を象徴する作家の作品の鑑賞を中心に、講義を公開で行います。



第37回
講座

エストニアを代表するアニメーション作家

プリート・パルンは、長年アニメーション教育にも携わり、その教え子や、

作品から影響を受けた次の世代が活躍しています。

そこでその次世代の作家の作品上映と、

パルンの教育メソッドを紹介する講座を開催します。

演 題： **パルン学派？ エストニアに学ぶ作家たち**

講 師： **有持旭、山村浩二**

日 時： **11月12日(土) 午後4時30分～午後6時**

作品上映：「プラグ&プレイ」ミヒャエル・フライ監督、スイス

「ボルカドットボーイ」ニヘイサリナ監督、日本

「変形して奇形する」中澤ふくみ監督、日本

「レギュラー」ナタ・メトルーク監督、アメリカ・ウクライナ

「キュウリ」レオニード・シュメルコフ監督、ロシア



講師： **有持旭**

愛知県立芸術大学美術学部准教授

Arimochi Akira



1977年山口県生まれ。2012年から2年間エストニア芸術アカデミーで客員研究員として従事。帰国後、東京藝術大学大学院映像研究科にてプリート・パルンに関する論文でPh.D.取得。アニメーションを主とした比較芸術学やエストニア芸術史を専門分野とし、これまでオーラル・ヒストリーとして21回の歴史調査、合計16時間パルンとの対話を行ってきた。『TRANSIT 47号バルトの光を探して』やDNP文化振興財団の紀要などに寄稿。龍野国際映像祭 2021のエストニア・プログラムを監修。

企画・講師： **山村浩二**

東京藝術大学大学院映像研究科教授

Koji Yamamura



「頭山」(02年)が第75回アカデミー賞にノミネート、アヌシー、ザグレブ他6つのグランプリを受賞、「今世紀100年の100作品」の1本に選出される。「カフカ 田舎医者」(07年)がオタワ他7つのグランプリを受賞、アニメーション作品の受賞は130を超える。2021年、過去25年間の優れた世界の短編監督25人のトップ2に選出。長編「幾多の北」(21年)がアヌシー・コントロールシャン・クリスタル賞受賞。川喜多賞、芸術選奨文部科学大臣賞受賞、紫綬褒章受章。映画芸術科学アカデミー会員、国際アニメーションフィルム協会理事、日本アニメーション協会副会長。

会場： **東京藝術大学大学院映像研究科 馬車道校舎 大視聴覚室**

事前予約制、参加無料、先着90名、ただし新型コロナウイルスの状況によって収容人数を変更する場合がございます。

事前予約期間： **10月18日(火) 10:00～**

11月10日(木) 18:00(先着90名)



お問い合わせ先：東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻

E-mail: anim_contact@ml.geidai.ac.jp

専攻 web サイト: <https://animation.geidai.ac.jp>

主催：東京藝術大学大学院映像研究科、横浜市文化観光局

アクセス：みなとみらい線「馬車道駅」5・7番出口を出てすぐ

← 申込、詳細はホームページをご覧ください。

<http://animation.geidai.ac.jp/ca/>

